Kumasuma

介護ロボット全国フォーラム　2018

介護ロボットを効果的に利用するための基本的な視点、考え方

株式会社くますま
熊本住まいづくり研究所
たっく リハサポートセンター（訪問看護、訪問リハ、通所、居宅）
地域生活応援館　（福祉用具、住宅改修、生活用品）

代表・理学療法士　河添竜志郎

Kumasuma

介護ロボットを利用する目的

- 移　乗　支　援
- 移　動　支　援
- 排　泄　支　援
- 入　浴　支　援
- 見守り・ｺﾐﾆｭｹｰｼｮﾝ支援
- 介　護　業　務　支　援
- 機　能　訓　練　支　援

→

- 介護者の負担の軽減
- 利用者の自立促進
- 利用者の安全の確保

Kumasuma

介護ロボットに求められる目的

２人での介助を減らす

記録などの二重の手間を減らす

リスク（転倒など）を減らす

本人ひとりでできることを増やす

本人の活動範囲を増やす

・・・ etc

Kumasuma

介護ロボットに求められる目的

福祉用具に求められる目的

違うのは

学習により熟練した介護者でなくても
安全性や確実性や再現性を持てる
機能を付加させることができること

Kumasuma

ロボットなどを効果的に使用するためには

継続して使用することを組織の方針とすること

管　理　す　る　人　を　お　く　こ　と

使用を継続的に促進する人をおくこと

利用者への適応評価ができる人をおくこと

業務内の流れを整理できる人をおくこと

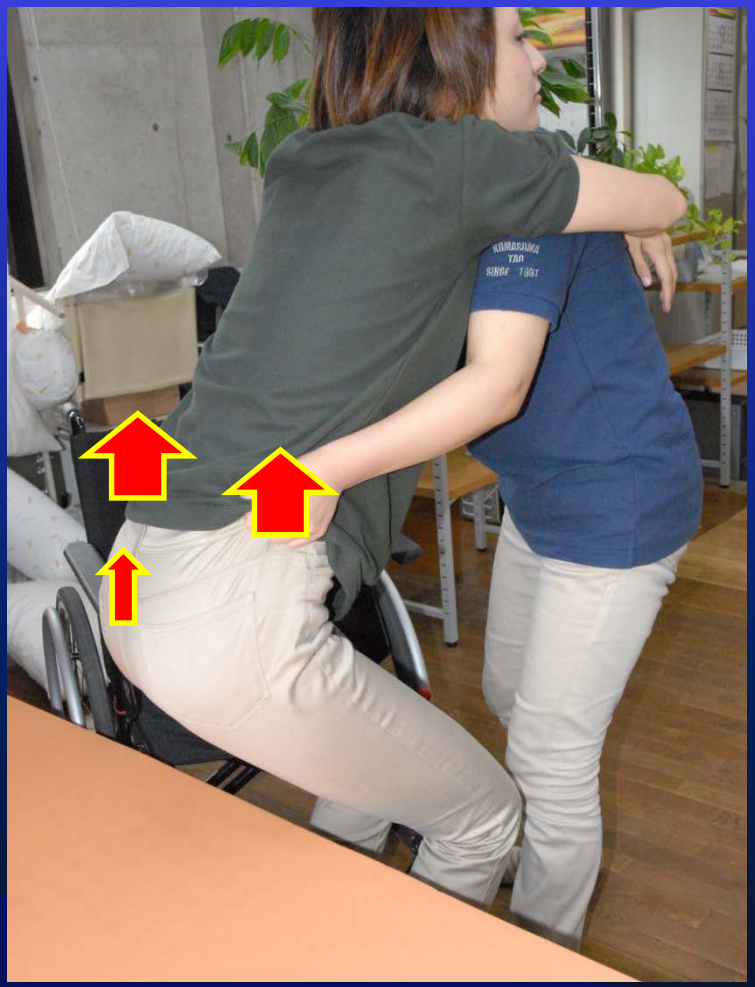
Kumasuma

褥瘡の講習会

褥瘡を治すばかりではなく
褥瘡をつくらないことが大切！

原因を捜し
適切な技術や
福祉用具にて対応する

動き（動かし方）の管理



抱える移乗

転落時の衝撃

Kumasuma

抱え上げない移乗方法

リフトでの移乗（床走行リフト）

Kumasuma

褥瘡の講習会でのアンケート

リフトは面倒だと考えず
患者さんのために使わなければ
いけないと思った

Kumasuma

このロボットは

どのような場面（場所や時間）で

誰（本人、介護者）にとって

有効であるが

導入によって

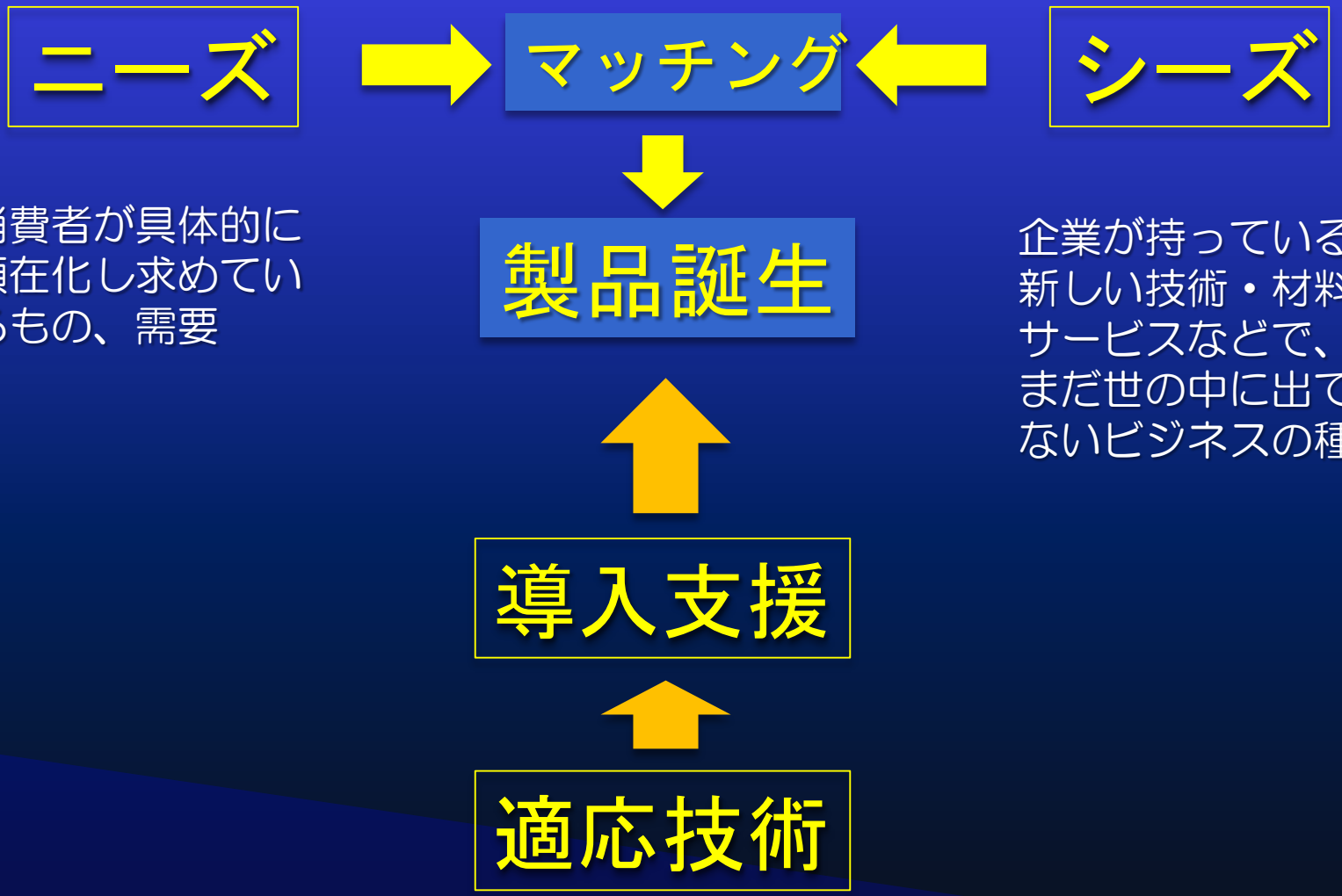
このような問題がおきるものの

このような対応策によって

役に立つものになる

Kumasuma

使われて効果を発揮するものが作られるには



Kumasuma

介護ロボットの目的による導入体制

あったら便利

システムを変えずに導入され
使えないと烙印を押されやすい

なくてはならない

システムを変えて導入されるため
使えるようになりやすい

ワンハンドカット式紙巻器

片麻痺の方が使いやすい紙巻き器

カッター付ワンハンド紙巻き器

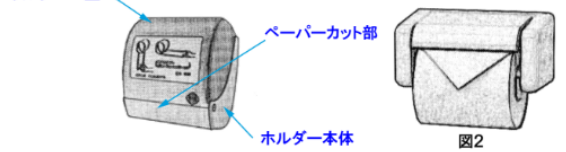


図2

●簡単な説明

片まひ等で両手が使えない人が使用する、紙巻き器。トイレ（便所）の壁に設置する。

【カッター付ワンハンド紙巻き器（図１）】

A.利点：片まひ等の片手しか使えない人でも、片手でペーパーが切れる。

B.欠点：前蓋を前方に倒し、紙の先端を穴に通してセットするので、セットがやや面倒である。

C.適応：片手しか使用できない人。

【通常型ワンハンド紙巻き器（図２）】

A.利点：通常の紙巻き器と同じ形をしている。紙のセットが簡単にできる。

B.欠点：確実にカットできないことがある。カットにコツがいる。

C.適応：片手しか使用できない人。

●選び方

１．特別な構造をしたものは、ペーパーのセットが面倒である。ただし、確実にペーパーはカットできる。

２．通常のタイプの上蓋の形状を変えてペーパーをカットするタイプは、セットが簡単であるが、カットする方向があるので使用にあたってはコツが必要である。

３．これらの条件を考えて、ホルダーの種類を選択する。

テクノエイド協会HP

before + after + after